

第5回

みる・きく・はなす

～ケアと〈身振り〉の哲学～

2019年3月24日(日)

14:00～16:30

講師：崎川 修さん

(ノートルダム清心女子大学准教授)

略歴 1971年東京生まれ

上智大学大学院哲学研究科博士後期課程満期退学。

2009年上智大学常勤嘱託講師(キリスト教人間学)。2013年よりノートルダム清心女子大学准教授。専門は現代哲学、人間学、キリスト教倫理。

共著書に『心とは何か』(北大路書房)『二ヒリズムとの対話』(晃洋書房)『教養としての応用倫理学』(丸善出版)『ケアを生きる私たち』(大学教育出版)など。

ケアの営みは、限りあるいのちを生きる私たち人間が、その「弱さ」ゆえに与えられた豊かな可能性です。しかし私たち一人ひとりが、ケアを見つめ、引き受けていかなければ、その豊かさは容易に損なわれ、見失われてしまうでしょう。本年度の講座では、昨年度の「ケアの哲学入門」に引き続き「ケアとは何か」という根本的な問いを大切にしながら、人生の様々な場面に即して、いったいどのような「ケアの姿勢」が私たちの生(いのち=暮らし)をつなぎ、支えていくのかを、様々な角度から一緒に考えてきました。

2018年度の5回目は、シリーズのまとめとして、ケアの姿勢をかたちづくるさまざまな〈身振り〉について「みる・きく・はなす」の3つのキーワードから考えます。そのどれもが、人間にとってきわめて日常的かつ身体的な営みと言えるでしょう。いのちを支える臨床の現場と、暮らしを支える人間のかかわりの両面を架橋しながら、ケアという「生き方」に哲学的な眼差しを向け、そのイメージを耕してみたいと思います。(当日はプリント資料を配布する予定です)

上智大学 2号館 5F 507 教室

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

(JR 中央線/東京メトロ丸の内線・南北線 四ツ谷駅 麹町口・赤坂口から 徒歩5分)

http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya

参加費：1,000円

(どなたでもご参加できます!)

※終了後、講師を囲んで懇親会を予定しています。

各自で飲食された分をお支払いください。

主催：ベグライテン 関根 090-9146-6667

<http://begleiten.org/><https://www.facebook.com/begleiten2/>

共催：ケアと公共を学ぶ会